

授業科目 健康情報論	科目概要・形式 2 単位 30 時間	配当年次 1年 前期
科目責任者	大西基喜	
担当者	中山和弘、大西基喜	
1. 科目のねらい・目標 ヘルスコミュニケーションの理論と実践を体系的に理解する。ヘルスケア（医療介護現場）におけるコミュニケーションや意思決定、予防行動やヘルスプロモーションにおけるヘルスコミュニケーション/ヘルスリテラシー、また、メディアリテラシー・文化リテラシーについても概観する。		
2. 授業計画・内容 <ul style="list-style-type: none"> ・健康情報を入手・理解・評価・活用（意思決定、行動）する能力としてのヘルスリテラシーの定義を把握し、医療の場とヘルスプロモーション（健康の社会的決定要因）の場におけるヘルスリテラシーの相違について理解する。 ・ヘルスリテラシーの測定と評価の方法について尺度を利用して理解する。 ・ヘルスリテラシーのある組織や社会をつくるために必要な科学的リテラシー（エビデンスとナラティブ）、メディアリテラシー（マスメディア、ソーシャルメディア）、文化リテラシーについて議論する。 ・世界のヘルスリテラシーへの取り組みから日本での課題について検討する。（以上、中山担当） ・医療現場における、ヘルスコミュニケーション（医療者・患者/家族間、医療者/医療者間）を検討する。その中で、意思決定における諸要因を考察する。 ・医療情報について、定義・管理・運用・共有化等、全般について理解する。（以上、大西担当） 		
3. 教科書、参考書 Web サイト『健康を決めるカーヘルスリテラシーを身につける』 http://www.healthliteracy.jp/ 福田洋・江口泰正編『ヘルスリテラシー：健康教育の新しいキーワード。』大修館書店, 2016. その他、参考書・論文は適宜紹介する。		
4. 成績評価方法 出席状況や試験（ないしレポート）などにより総合的に評価する。		
5. 受講要件 特にない		
6. 社会人学生に対する配慮 社会人が受講しやすいよう、概ね、金曜日夜～日曜日に集中的に講義する		
7. その他		